

大洗町立夏海小学校 学校長：岩間 幸一

【実施日時】	平成20年11月27日(木) 9:00～13:00
【参加者と人数】	5年生15名, 6年生12名
【コーディネーター】	村尾 光子
【講師】	チャン・ジョンリョン(韓国)
【活動内容】	5,6年生合同で班を作り,家庭科室で韓国料理のチヂミとトッポキの作り方を学ぶ。 試食をしながら,韓国の料理の特徴や食生活について聞いたり話し合ったりする。 韓国についての話・民族衣装(チマ・チョゴリ)の説明・「アリラン」の歌詞の説明と発音の仕方の練習・「アリラン」のダンスを練習・記念日や風習、生活習慣について フォトランゲージ(5枚の写真を使って世界と日本を比較)
【参加者の感想】	トッポキは随分辛いと思ったが,韓国の人はいくら唐辛子を入れても聞いてびっくりした。チヂミはニラやネギのいいにおいがして,野菜たっぷりの日本のお好み焼きのような料理だった。韓国語には日本語と同じような発音の言葉があることがわかった。 チマ・チョゴリはとても美しかった。また,チョゴリのリボンが泣いたときのハンカチの役目もすると聞いて機能的にできているなということと,それだけ泣くようなこともあったのかなと思った。 家の中にあるものを全部外に並べ,その前に家族の並んでいる5枚の写真を見て国あてをした。日本は物が一杯で恵まれているが,必要最小限しかないのに家族全員が写っている外国の家を見て,家族のつながりを感じ,「物があれば幸せというわけでもない。」と感じた。
【担当者の感想】	講師の先生がとてもエネルギッシュで,楽しくお話をしてくださるので,子どもたちもやる気十分で料理に挑戦することができた。韓国の料理をつくりながら,日本のお好み焼きを思い出したり,自分の地域である大洗のたらし焼きを思い出したり,共通点や違いなどを積極的に考えながら取り組む児童の様子が見られた。また,講師が音楽が得意ということもあり,料理だけでなく5年生の音楽で学習した「アリラン」を習った。講師の先生がピアノを弾いて歌ったり,ダンスを教えてくれたりと実際に体を動かしながら学ぶことができたので,発音する声や歌う声も自然に大きくなり楽しく韓国について知ることができた。その後行った国際理解のお話では,提示された5枚の写真を見て,日本との比較をしながら物質や平和に恵まれた日本と,物はないが心の結びつきのある国々について一人一人が真剣に考えることができ,とても有意義な時間を過ごすことができた。

